

2021年9月吉日

巡回展「民藝 MINGEI 生活美のかたち展」を西日本にて開催

無印良品と日本民藝館による連携企画



無印良品を展開する株式会社良品計画（東京都豊島区／代表取締役社長 堂前 宣夫）は、日本民藝館（東京都目黒区／館長 深澤 直人）が所蔵する作品の移動展覧会「民藝 MINGEI 生活美のかたち展」を広島、福岡にて開催いたします。

本展は新潟県上越市「無印良品 直江津」（2021年1月開催）、「無印良品 銀座」（2021年3月開催）に続く、巡回展となります。

■「民藝 MINGEI 生活美のかたち展」

異なる時代に生まれた民藝運動と無印良品は、それぞれが消費社会において、流行や生活様式の変化を受けながら自らの原点に問いを投げかけ続けてきました。この移動展覧会「民藝 MINGEI 生活美のかたち展」は、未来の無印良品に向けた新たな旗を立てるべく、日本民藝館の協力を得て民藝の美に学びながら、これからの道しるべを見出すためのメッセージを創造していく展覧会です。

無印良品はその名のとおり、日用品が主張することなく、日々のくらしのなかに溶け込んでいくように、ものづくりを続けています。台所、居間、洗面所などのどんな場所においても、また日本全国はもちろんのこと、世界中においても、日常に溶け込み、人々の役に立てる存在でありたいと願っています。この展覧会が、無印良品のものづくりに込められた思想を一つひとつじっくり確かめていただける機会になればと考えています。

■企画キュレーション 深澤直人氏 メッセージ

無印良品のことを現代の民芸、あるいは現代の民具だという人がいます。

もちろん製作手段の違いはありますが、製品に作者の名を記さないことや装飾をしない無我で誠実なものづくりの姿勢などに、互いの共通点があると思います。しかもそのものたちは静かに用に即した美を放っています。

「民藝（民芸）」は1925年に柳宗悦らが命名した言葉であり、「民衆の工芸」のことを指します。観賞用としての雅な逸品ではなく、大衆に向けて作られた温もりを宿す実用の手工芸品の中に、健全で尋常な美が宿っていることを柳は見出しました。

われわれの日常や生活に寄り添う独自の「ものの美学」を提唱した柳宗悦は、自らが蒐集した17000点に及ぶ民藝品とその美学を多くの人々と共有したいと願い、1936年に日本民藝館を設立しました。日本民藝館は未だその美学を発信する民藝運動の基地として存在しています。

一方の無印良品は、印のついたマーケティング戦略に基づいたものづくりに抵抗し、質素で豊かな真の価値を目指して1980年に設立されました。

それはプロダクトによる現代の民藝運動と言えるかもしれません。人々が心の奥底で大切に思っている、平和で何気ない日常の生活に寄り添って行くこと。日本民藝館も無印良品もそのころは変わらないと思います。美を生み出す力の源泉たる「民藝」。そのエッセンスを紹介する「民藝 生活美のかたち展」が、未来に向けたものづくりへの試金石となれば幸いです。

日本民藝館館長 深澤 直人

【展覧会情報】

民藝 MINGEI 生活美のかたち展

■広島

会期 | 2021年10月8日（金）—11月28日（日） 営業時間 10:00~20:30

会場 | 無印良品 広島パルコ「Open MUJI」※入場無料

〒730-0034 広島県広島市中区新天地 2-1 広島パルコ新館 7~8F

営業時間 | 10:00~20:00

■福岡

会期 | 2021年12月3日（金）—2022年1月30日（日） 10:00~21:00

会場 | MUJI キャンナルシティ博多 ※入場無料

〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉 1-2-1 ノースビル 3~4F

営業時間 | 10:00~21:00

主催 | 株式会社良品計画 特別協力 | 日本民藝館 企画キュレーション | 深澤 直人

施工 | HIGURE 17-15 cas グラフィックデザイン | 東川 裕子

「民藝 MINGEI 生活美のかたち展」特設 WEB サイト <https://www.muji.com/jp/feature/mingei/>

※場合によっては、会期・営業時間等変更となる場合がございます。随時、特設 WEB サイトにてお知らせいたします。

【リリース 写真資料】

本リリースに掲載した下記写真を広報掲載用にご用意しております。掲載をご希望の際は下記広報担当までご連絡ください。ご掲載の際は、作品キャプションおよびクレジットの表記をお願いいたします。クレジットは「©株式会社良品計画」とご記載願います。



2.石炉
朝鮮時代/19世紀



3.焼締薬煎
中国広東石湾/20世紀



4.白磁瓶
薩摩 平佐/江戸時代後期、19世紀



5.提籠
山形県/昭和時代初期、20世紀前半



6.緑釉行灯皿
瀬戸/江戸時代後期、19世紀

本展へのご取材・ご掲載に関するお問い合わせ
株式会社良品計画 広報・サステナビリティ部 rk-pr@muji.co.jp